

1 2 文化・芸術		
	タイトル	意見等
1	県立新ホール整備計画について	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は県立新ホール整備計画においては、徳島県民一人一人が望む 広くて、立派で、全国に誇れることのできる日本一の良い県立新ホールにしなければならない。</p> <p>※ 令和6年4月26日に後藤田正純徳島県知事は、カナモトホール(札幌市民ホール)を視察している。</p>
2	新ホール要求水準書について	<p>藍場浜公園の新ホール整備事業の要求水準書について 個人として質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解体する地下駐車場はアスベスト調査はされましたか？特段の記述がないようですが。 2. 国土交通省発行の「建築工事設計図書作成基準」は適用されないですか？ 文化ホール跡地への設計では適用の指示がなかったようで、開示された概要書の図面がバラバラでした（当方より指摘してあります）。 3. 工事監理指針とか建設工事公衆災害防止対策要綱は設計図書で適用を支持するのでしょうか？ 4. 工事に際して使用可能な公共用地はないのですか？施工計画やコストに影響すると思いますが。
3	再度投稿します	<p>昨年質問したが、多忙との回答のみでおわっている新ホール建設に伴うコストの件 改めて質問します(6月17日)。</p> <p>新ホールの総工事費の県の説明において 旧文化ホール跡地での計画案(以下 当初案とする)と藍場浜公園での計画でコスト比較があるが、藍場浜案では 安く見せるためか 比較資料が同一条件で設定されていない(設計費等を後日追加して172億円と訂正)。また当初案は建築確認許可に相当する法的根拠の確定ができていないので設計は完了していないが、基本設計や実施設計費用は支払い済のはず、その金額はいくらで、どこに計上されたのか？さらに耐震改修を終えた施設の解体費とその跡地の管理費は どうなっているのか？ またこういったすでに発生、処理済のコストも新ホールの総工事費に含めることが必要ではないか？ 徳島市に返却して残った跡地の利用計画案も提示するべきです、いま議会開催中です。</p> <p>なお、藍場浜公園に新ホールを建設することに反対するものではありません。現状の人口減少をにらんで 欲張らずに、維持管理コストも考えて、安全で適切な規模の施設を建設することを希望します。スロープや階段さらには不必要な吹き抜けばかり目立つ施設はおかしいです。</p>